

# 2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月10日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 山下 正弘



# 目次

## ■2011年3月期第2四半期(連結)決算の概況

## ■2011年3月期(連結)業績予想

## ■2010年度経営方針の進捗状況

新中期経営計画 「HOPE 100 - ステージ1 - (2010~2015年度)」達成への歩み

- ◆主要製品(国内・海外)の動向
- ◆後発医薬品の状況
- ◆ヘルスケア事業について
- ◆開発パイプラインの状況

## 2011年3月期 第2四半期 (連結) 決算の概観

単位:億円

	11年3月期 第2四半期		達成率 (%)	10年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)
	当初予想	実績				
売上高	465	467	100.4	457	+10	+2.2
営業利益	25	42	168.0	46	△4	△ 8.1
経常利益	29	45	156.6	52	△7	△12.2
当期純利益	17	30	174.1	33	△3	△10.1

# セグメントの売上高の増減(連結)

単位:億円

	11年3月期第2四半期		達成率 (%)	10年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)
	当初予想	実績				
売上高合計	465	467	100.4	457	+10	+2.2
医薬品事業	447	454	101.3	441	+13	+2.9
◆新医薬品	388	392	100.8	380	+12	+3.1
○国内	375	377	100.4	367	+10	+2.7
○海外	13	15	113.7	13	+2	+17.4
◆後発医薬品	36	41	114.0	36	+5	+14.8
◆一般用医薬品他	22	20	89.6	25	△5	△18.7
ヘルスケア事業	17	13	76.1	16	△3	△16.6

## 売上高増減のポイント

【国内新医薬品】	+10億円	・主要製品が好調に推移(キプレス、ウリトス他)
【海外新医薬品】	+2億円	・ガチフロキサシン点眼液の売上が増加
【後発医薬品】	+5億円	・保険調剤薬局市場での販売が好調
【一般用医薬品他】	△5億円	・ミルトン、杏文堂等の売上減
【スキンケア】	△3億円	・ドクタープログラムの売上減

# 主要製品売上高の増減(連結)

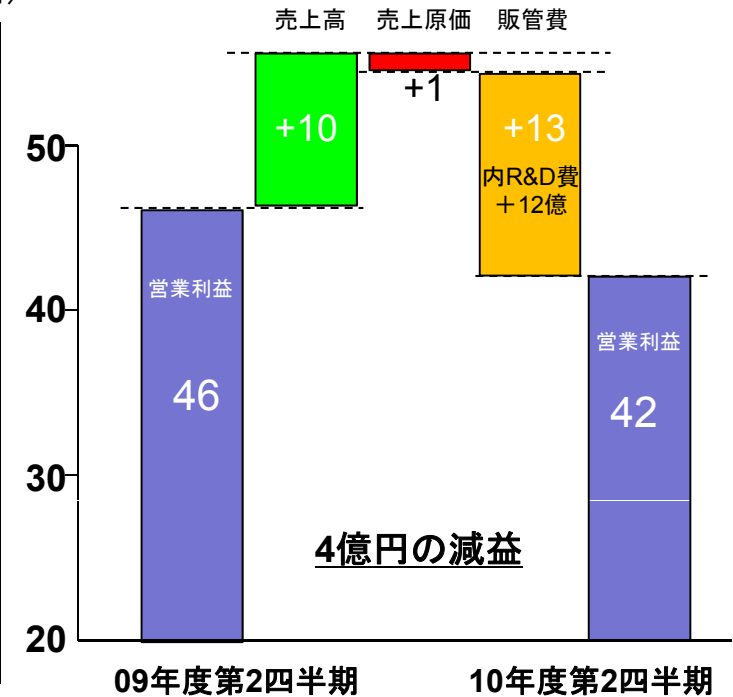
単位:億円

	11年3月期第2四半期		達成率 (%)	10年3月期 第2四半期 (実績)	対前年 増減	前年同期比 (%)
	当初予想	実績				
キプレス	137	141	102.9	127	+14	+10.6
ムコダイン	95	94	98.7	93	+1	+1.0
ペンタサ	98	99	100.3	97	+2	+1.4
ウリトス	22	24	109.6	16	+8	+54.2
ガチフロキサシ (海外)	10	13	128.0	11	+2	+13.7

# 損益の概要(連結)

(単位:億円)

単位:億円	11年3月期第2四半期		達成率 (%)	10年3月期 第2四半期 実績	対前年 増減	前年同期比 (%)
	当初予想	実績				
売上高	465	467	100.4	457	+10	+2.2
売上原価	—	171	—	170	+1	+0.3
販売費及び一般管理費	—	254	—	241	+13	+5.4
R&D費	81	69	84.9	57	+12	+21.3
R&D費を除く販管費	—	185	—	184	+1	+0.6
営業利益	25	42	168.0	46	△4	△8.1
経常利益	29	45	156.6	52	△7	△12.2
当期純利益	17	30	174.1	33	△3	△10.1



## ポイント

### ○営業利益は42億円

#### ・売上総利益は9億円増加

売上は10億円増加したが、売上原価額は1億円の増加にとどまった。

(薬価改定の影響を上回る数量ベースでの伸長、原価率の低いウリトス等の売上増、キョーリン リメディオの原価率の低減により売上原価率が0.7ポイント改善し、36.6%となった)

#### ・販売費及び一般管理費は13億円増加

R&D費は12億円増(開発パイプラインの進展、R&D費を除く販管費率は0.6ポイント減)

# 2011年3月期 業績予想(連結)

単位:億円

	2011年3月期		当初予想との差違	2010年3月期 (実績)	対前年 増減	前年同期比 (%)
	当初予想	修正予想				
売上高合計	1,003	1,018	+15	998	+20	+2.0
■医薬品事業	965	990	+25	964	+26	+2.7
■ヘルスケア事業	37	28	△9	33	△5	△16.2
営業利益	127	147	+20	133	+14	+10.8
経常利益	134	153	+19	142	+11	+7.5
当期純利益	85	97	+12	88	+9	+9.6

## 売上高・営業利益「予想修正のポイント」

### 【売上高】 当初予想との差異

- 医薬品事業 [+25億円]
  - ◆国内新医薬品 +11億円 ・主要製品が当初予想を上回る見込み
  - ◆海外新医薬品 +10億円 ・ガチフロキサシン点眼液の売上を上方修正
  - ◆後発医薬品 +9億円 ・保険調剤薬局市場等での販売が好調に推移
  - ◆一般用医薬品他 △4億円 ・OTC、杏文堂の売上減
- ヘルスケア事業 [△9億円] ・ドクタープログラムの売上を下方修正

- 【営業利益】 ・売上総利益は増加(売上増加と売上原価率の低減(売上原価率:前年同期比約2ポイント低下))  
 ・R&D費は当初予想から△8億円減(134億円から126億円へ:前年同期比8億円増)  
 ・R&D費を除く販管費は若干増加(R&D費を除く販管費比率は前年同期比ほぼ横ばい)

# 2011年3月期 主要製品の売上予想

単位:億円

	2011年3月期		当初予想との差違	2010年3月期実績	対前年増減	前年同期比(%)
	当初予想	修正予想				
キプレス	314	322	+8	292	+30	+10.3
ムコダイン	214	218	+4	209	+9	+3.9
ペンタサ	201	195	△6	194	+1	+0.2
ウリトス	51	55	+4	37	+18	+47.8
ガチフロキサシン (海外)	13	22	+9	22	△1	△2.7

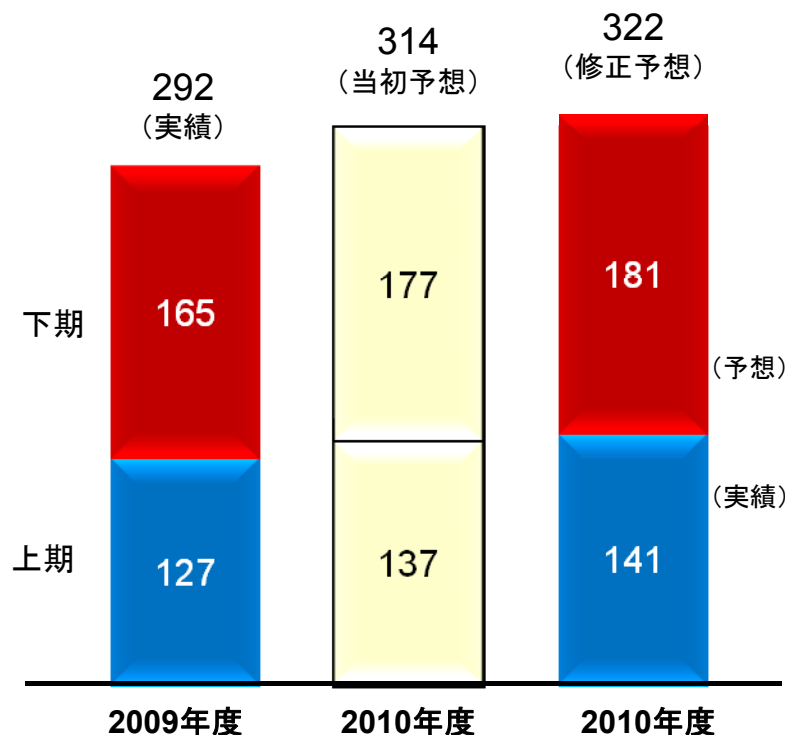


# キプレス【気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤】

単位: 億円

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期予想	
					当初	修正
売上高	150	191	252	292	314	322

売上高(単位: 億円)



## ■2010年度の状況と課題

- アレルギー性鼻炎でのポジショニングの確立
- 成人、小児喘息患者さんへの更なる処方促進
- 細粒4mg、チュアブル錠5mgの採用・処方促進
- LT拮抗剤におけるマーケットシェアの拡大  
27.7%(2009年9月MAT) ⇒ 30.3%(2010年9月MAT)

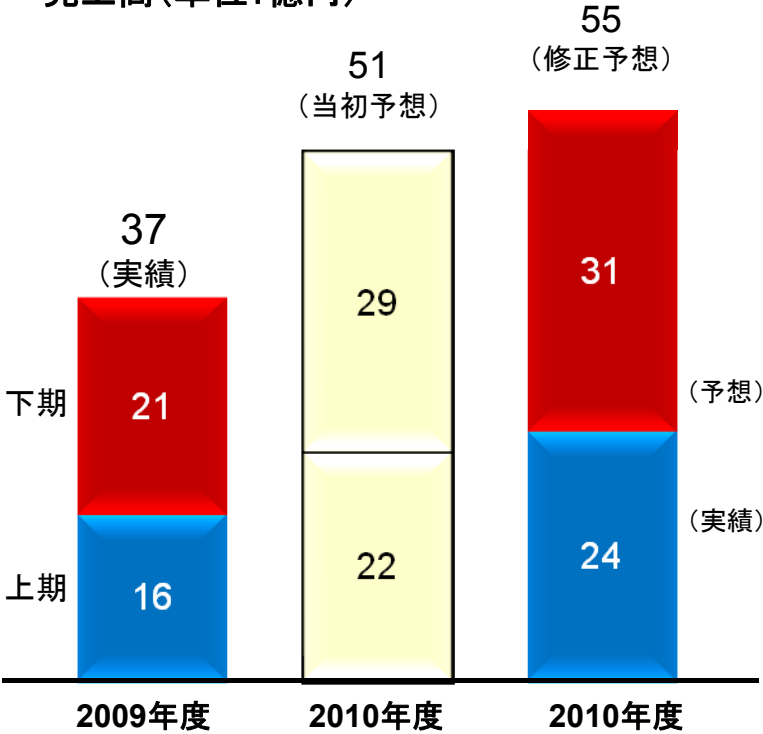
(出典: IMSジャパン株式会社 JPM, 2009年9月/2010年9月MAT無断転載禁止)

# ウリトス 【過活動膀胱治療剤】

単位:億円

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期予想	
					当初	修正
売上高	—	7	20	37	51	55

売上高(単位:億円)



## 2010年度の状況と課題

- 潜在市場の掘り起こし  
OAB市場: 535億円(2009年9月MAT) ⇒ 590億円(2010年9月MAT)
- 製品差別化とファーストチョイスでの処方提案
- 新剤型(OD錠)の年度内上市
- OAB市場でのイミダフェナシンシェアの拡大  
13%(2009年9月MAT) ⇒ 18%(2010年9月MAT)  
(出典: IMSジャパン株式会社 JPM, 2009年9月/2010年9月MAT無断転載禁止)

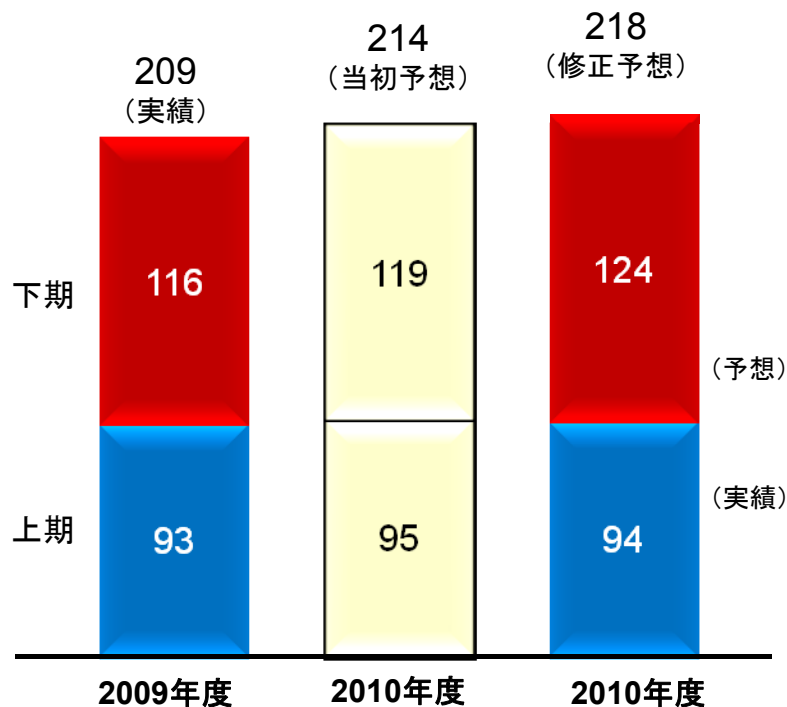
OD錠: 口腔内崩壊錠の略

# ムコダイン【気道粘液修復・粘膜正常化剤】

単位：億円

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期予想	
					当初	修正
売上高	204	212	206	209	214	218

売上高(単位：億円)



## ■2010年度の状況と課題

- 新剤形「DS50%」の採用及び処方促進  
(2010年5月上市)
- EBMに基づく、慢性疾患への処方拡大

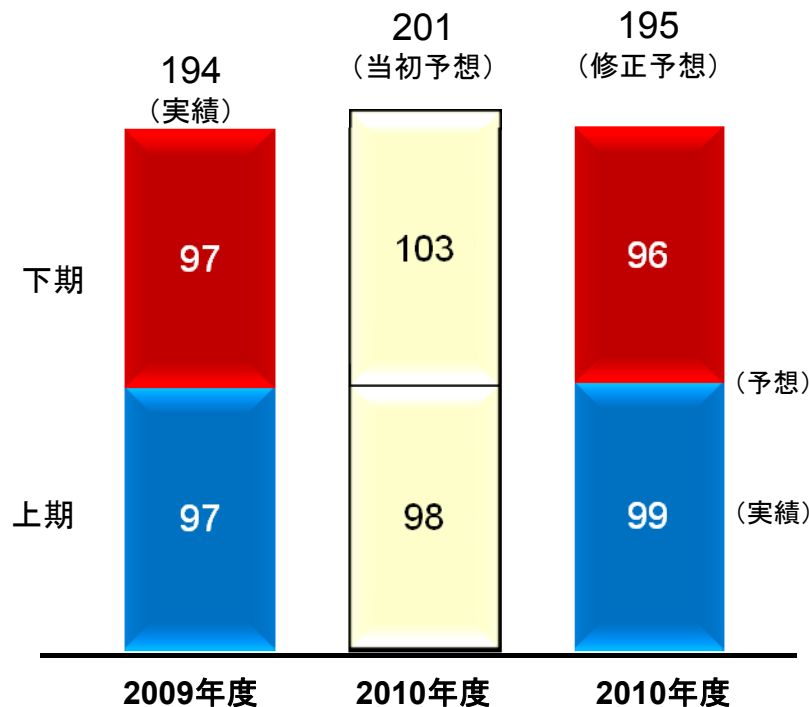
# ペンタサ 【潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤】

単位：億円

	07年3月期 ※	08年3月期 ※	09年3月期 ※	10年3月期	11年3月期予想	
					当初	修正
売上高	80	88	157	194	201	195

※2008年9月までは日清キョーリン製薬と併売

売上高(単位：億円)



## 2010年度の状況と課題

- 500mg錠の採用促進
- UCでの基準処方 of 確立
  - ・活動期4g処方
  - ・寛解導入, 維持療法における注腸併用療法の普及
- メサラジン製剤の市場拡大
  - ・メサラジン製剤の市場は約10%拡大
  - ・2010年9月MAT:260億円
- 新用法・用量(1日1回投与)臨床試験の実施

(出典:IMSジャパン株式会社 JPM, 2010年9月MAT無断転載禁止)

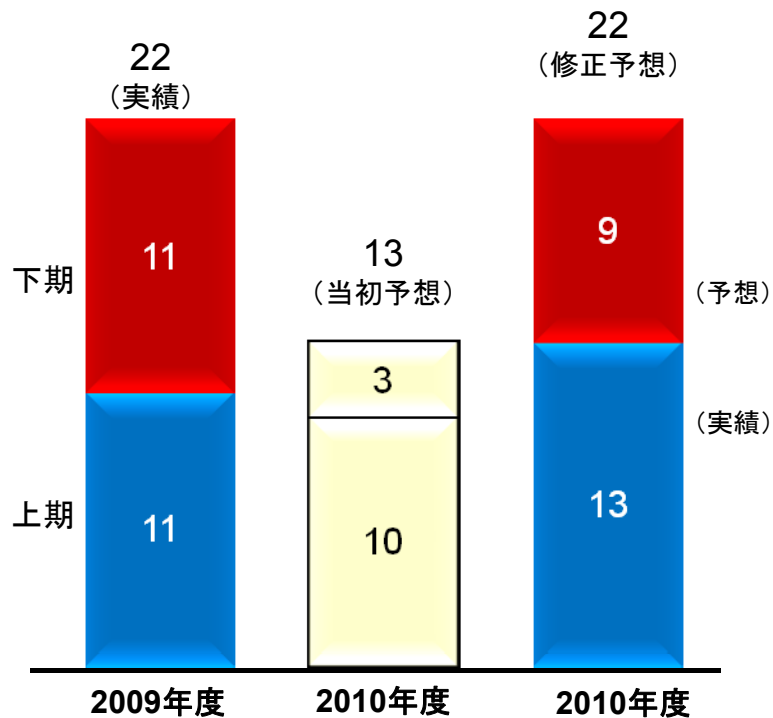
※UC:潰瘍性大腸炎の略

# ガチフロキサシン 【抗菌点眼剤(海外)】

単位:億円

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期予想	
					当初	修正
売上高	32	30	25	22	13	22

売上高(単位:億円)



## 2010年度の状況と課題

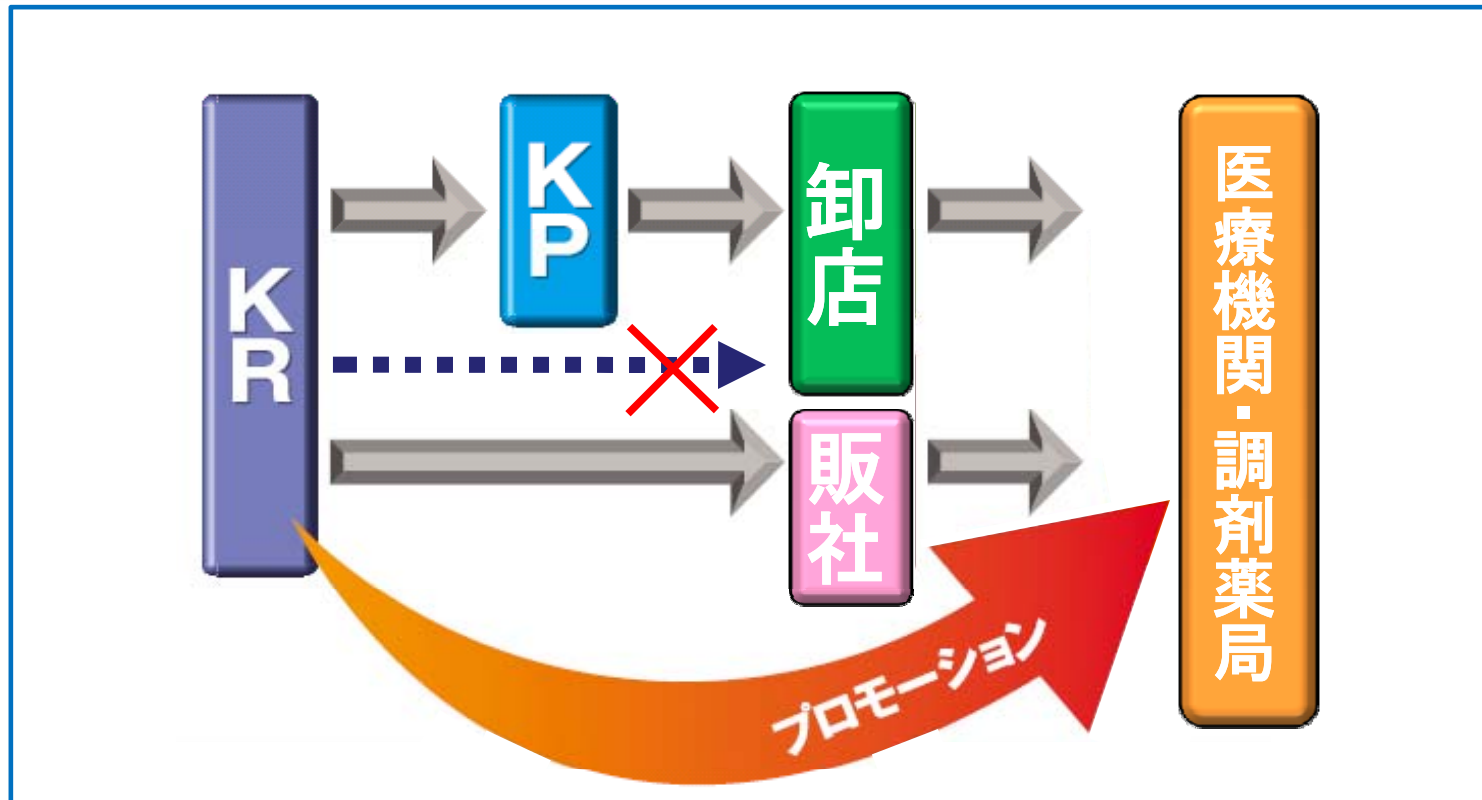
### ●ガチフロキサシン点眼液高濃度製剤の展開 (アラガン社が2010年6月に発売)

- ・ザイマー(Zymar): 0.3%
- ・ザイマキシド(Zymaxid): 0.5%

◆2010年内のGEの発売の可能性は低い(米国)

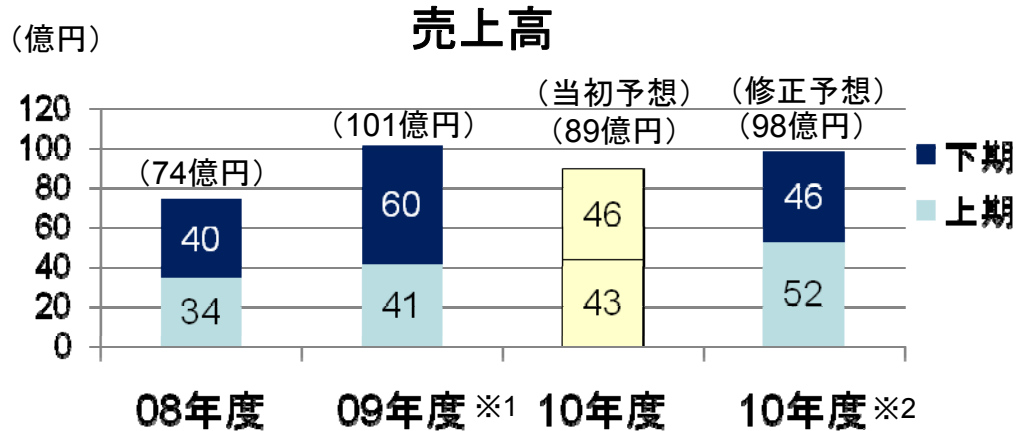
# 後発医薬品の状況

物流の統合化：10月1日よりキョーリンリメディオの卸店販売ルートを杏林製薬へ統合



- 卸店販売ルートにおけるGE薬の売上拡大
- 環境変化に応じた臨機応変な戦略の展開

# キョーリン リメディオの状況



※1 決算期を1月31日から3月31日へ変更(2010年3月期は、14ヶ月が対象期間)

※2 卸店販売ルート of 杏林製薬への統合により初期在庫として約6億円を売上計上(9月)

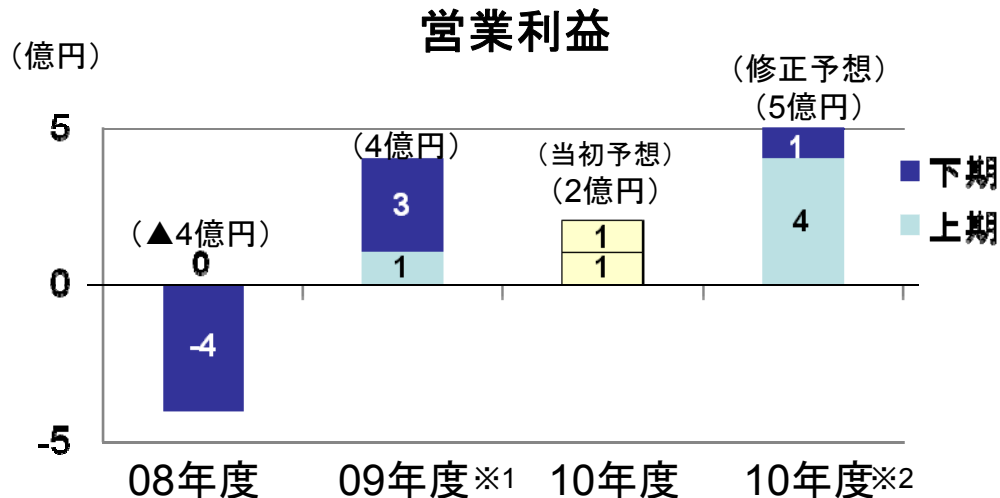
## 2010年度上期の状況

### ●売上増加要因

- ・保険調剤薬局市場での販売が好調に推移
- ・物流統合による初期在庫(9月:約6億円)

### ●利益増加要因

- ・販売価格の適正化、自社製品の売上増加
- ・工場稼働率の向上など



※1 決算期を1月31日から3月31日へ変更(2010年3月期は、14ヶ月が対象期間)

※2 卸店販売ルート of 杏林製薬への統合により初期在庫として約6億円を売上計上(9月)

## 2010年度下期の取り組み

### ●卸店販売ルートにおける売上の拡大

### ●重点商品、追補品の売上増

- ・新たな追補品6成分10品目を発売予定(11月)

### ●売上原価率の更なる低減

- ・販売価格の適正化、自社製品の売上増加
- ・工場稼働率の向上など

# ヘルスケア事業について

---

## 既存事業の育成 と 新規事業の創出

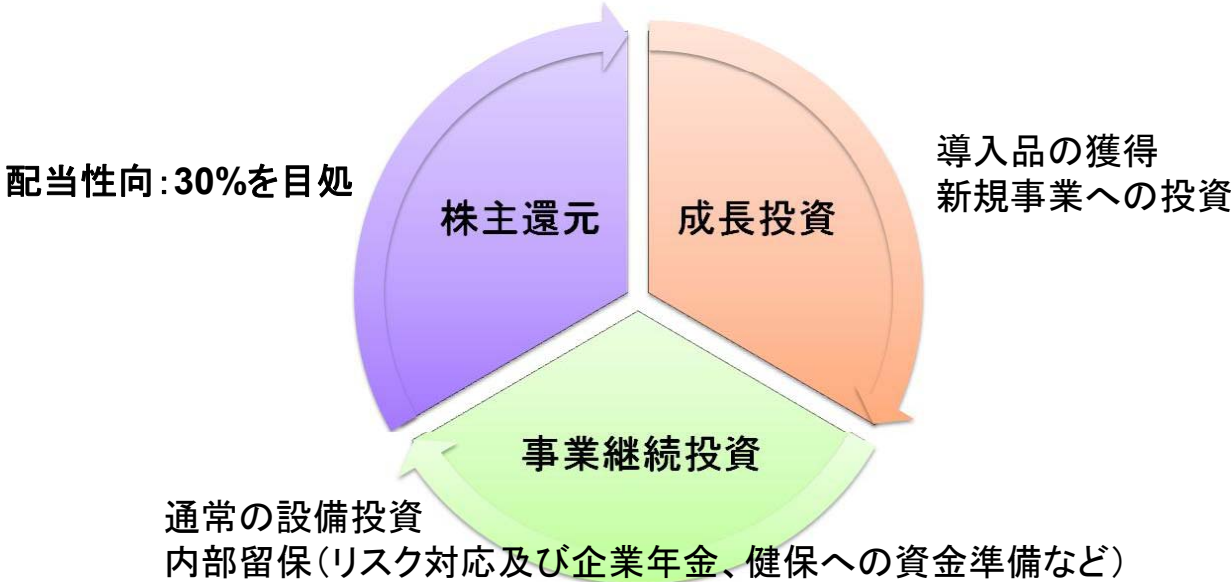


# 配当について

**年間配当35円：第2四半期末10円，期末25円（予定）**

## 新中期経営計画「HOPE100 - ステージ1 - 」における投資と株主還元の方針

※成長のための投資、事業継続投資、株主還元をバランスよく実施し、経営基盤の強化を図る



# 参考資料

# 2011年3月期 第2四半期 セグメント情報

## 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	467	+10	42	△4
医薬品事業計	454	+13	40	—
◆新医薬品	392	+12		
○国内	377	+10		
○海外	15	+2		
◆後発医薬品	41	+5		
◆一般用医薬品他	20	△5		
ヘルスケア事業計	13	△3	+0	—
調整額	—		1	—

(注1) 当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

(注2) 上記内容は簡便的に前年実績を組み換え、当第2四半期実績と比較しています

# 2011年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	中間期				通期		
	09年度 (実績)	10年度 (実績)	前年 差額	前年比	09年度 (実績)	10年度 (修正予想)	10年度 (当初予想)
売上高	45,714	46,707	+992	2.2%	99,764	101,800	100,300
医薬品事業	44,115	45,373	+1,257	2.9%	96,421	99,000	96,500
◆新医薬品	38,011	39,208	+1,196	3.1%	82,395	86,300	84,300
○国内	36,733	37,708	+974	2.7%	79,766	83,600	82,500
○海外	1,278	1,500	+222	17.4%	2,629	2,700	1,700
◆後発医薬品	3,584	4,115	+530	14.8%	8,642	8,500	7,600
一般用医薬品他	2,519	2,049	△469	△18.6%	5,384	4,100	4,500
ヘルスケア事業	1,599	1,333	△265	△16.6%	3,342	2,800	3,700
営業利益	4,569	4,201	△368	△8.1%	13,261	14,700	12,700
経常利益	5,172	4,542	△629	△12.2%	14,234	15,300	13,400
当期純利益	3,293	2,959	△334	△10.1%	8,848	9,700	8,500

(注)上記内容は簡便的に前年実績を組み替え、当第2四半期実績と比較しています

# 主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬
売上高
営業利益
四半期純利益

10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
395	408
48	39
38	29

10年3月期	11年3月期 (修正予想)
853	908
131	140
95	96

11年3月期 (当初予想)
873
123
84

キョーリン リメディオ
売上高
営業利益
四半期純利益

10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期 ※1
41	52
1	4
1	4

10年3月期 ※2	11年3月期 (修正予想)
101	98
4	5
4	5

11年3月期 (当初予想)
89
2
1

ドクタープログラム
売上高
営業利益
四半期純利益

10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
16	13
△2	0
△2	0

10年3月期	11年3月期 (修正予想)
33	28
△1	0
△1	0

11年3月期 (当初予想)
37
2
2

※1: 卸店販売ルート of 杏林製薬(株)への統合(10月1日)に伴い、初期在庫分として約6億円を売上計上しています

※2: キョーリン リメディオの2010年3月期業績は決算期変更に伴い14ヶ月分を計上しています

# 損益計算書の概要：連結①

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	45,714	100.0%	46,707	100.0%	2.2%	992
医薬品事業	44,115	96.5%	45,373	97.1%	2.9%	1,257
◆新医薬品	38,011	83.1%	39,208	83.9%	3.1%	1,196
○国内	36,733	80.4%	37,708	80.7%	2.7%	974
○海外	1,278	2.8%	1,500	3.2%	17.4%	222
◆後発医薬品	3,584	7.8%	4,115	8.8%	14.8%	530
◆一般用医薬品他	2,519	5.5%	2,049	4.4%	△18.7%	△469
ヘルスケア事業	1,599	3.5%	1,333	2.9%	△16.6%	△265

## <適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社7社：杏林製薬(株) (株)杏文堂  
 Kyorin USA,Inc. Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences,Inc.  
 キョーリンリメディオ(株)  
 ドクタープログラム(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

## 対前年

■売上高 46,707百万円 ( + 992百万円)

●国内新医薬品 39,208百万円 (+ 1,196百万円)

前期実績 当期実績(億円)

・キプレス 127 → 141 (+14)

・ムコダイン 93 → 94 (+1)

・ペンタサ 97 → 99 (+2)

・ウリトス 16 → 24 (+8)

●海外新医薬品 1,500百万円 (+ 222百万円)

・ガチフロキサシン 11 → 13 (+2)

●後発医薬品 4,115百万円 (+ 530百万円)

\* 保険調剤薬局市場での販売が好調

●一般用医薬品他 2,049百万円 (△ 469百万円)

\* ミルトン、杏文堂等の売上減

●ヘルスケア 1,333百万円 (△ 265百万円)

・ドクタープログラムの売上減

16 → 13 (△ 3)

# 損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	45,714	100.0%	46,707	100.0%	2.2%	992
売上原価	17,035	37.3%	17,083	36.6%	0.3%	48
売上総利益	28,679	62.7%	29,623	63.4%	3.3%	944
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	24,109 (5,670)	52.7% 12.4%	25,422 (6,879)	54.4% 14.7%	5.4% (21.3%)	1,312 (1,208)
営業利益	4,569	10.0%	4,201	9.0%	-8.1%	△368
営業外収益	671	1.5%	389	0.8%	△42.1%	△282
営業外費用	69	0.2%	47	0.1%	△30.8%	△21
経常利益	5,172	11.3%	4,542	9.7%	△12.2%	△629
特別利益	9	0.0%	25	0.1%	163.4%	15
特別損失	50	0.1%	11	0.0%	△77.2%	△38
税金等調整前 四半期純利益	5,131	11.2%	4,556	9.8%	△11.2%	△575
法人税・住民税 及び事業税	2,129	4.6%	1,405	3.0%	△34.0%	△723
法人税等調整額	△290	△0.6%	191	0.4%	—	482
四半期純利益	3,293	7.2%	2,959	6.3%	△10.1	△334

## <当期のポイント>

◆原価率：前年比0.7ポイント低下  
(37.3%→36.6%)

\* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増加、  
キョーリンリメディオの原価率低下

◆研究開発費率：前年比2.3ポイント上昇  
(12.4%→14.7%)

\* 57億円→69億円(約12億円増加)  
開発パイプラインの進展(KRP-108Ph2b終了など)

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.6ポイント低下  
(40.3%→39.7%)

\* 184億円→185億円(1億円増加)

■営業利益 4,201百万円  
(△368百万円)

\* 営業利益率は9.0%と1.0ポイント低下

■四半期純利益 2,959百万円  
(△334百万円)

■配当(第2四半期末) 10円00銭

# 貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	10年3月期		11年3月期第2四半期(連結)会計期間末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	91,060	66.4%	83,504	65.0%	△7,556
現金および預金	20,193		18,299		
受取手形及び売掛金	36,859		32,382		
有価証券	5,353		5,471		
棚卸資産	21,874		20,585		
その他流動資産	6,779		6,764		
<b>固定資産</b>	46,129	33.6%	45,037	35.0%	△1,091
有形固定資産	15,825		15,347		
無形固定資産	1,024		858		
投資その他	29,278		28,831		
<b>資産合計</b>	137,190	100.0%	128,541	100.0%	△8,648
<b>流動負債</b>	26,198	19.1%	18,338	14.3%	△7,860
支払手形及び買掛金	9,858		5,816		
その他流動負債	16,340		12,522		
<b>固定負債</b>	6,079	4.4%	5,541	4.3%	△538
<b>負債合計</b>	32,278	23.5%	23,879	18.6%	△8,399
<b>株主資本</b>	104,907	76.5%	104,871	81.6%	△36
評価・換算差額等	3	0.0%	△209	△0.2%	△212
<b>純資産合計</b>	104,911	76.5%	104,662	81.4%	△249
<b>負債及び純資産合計</b>	137,190	100.0%	128,541	100.0%	△8,648

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産：7,556百万円減

- ・現金、預金の減少 (1,893百万円減)
- ・受取手形、売掛金の減少 (4,477百万円減)
- ・有価証券の増加 (118百万円増)
- ・棚卸資産の減少 (1,289百万円減)
- ・その他流動資産の減少 (14百万円減)

### ■ 固定資産：1,091百万円減

- ・有形固定資産の減少 (478百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (165百万円減)
- ・投資その他の減少 (447百万円減)

### ■ 流動負債：7,860百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (4,042百万円減)
- ・その他流動負債の減少 (3,818百万円減)

### ■ 固定負債：538百万円減



# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>第2四半期

(単位:百万円)

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期第2四半期		10年3月期 (実績)	11年3月期 (修正予想)	11年3月期 (当初予想)
				実績	増減比			
研究開発費	5,676	4,968	5,670	6,879	21.3%	11,807	12,600	13,400
設備投資 (計上ベース)	1,451	1,115	709	633	△10.7%	1,291	2,400	1,700
減価償却費	2,214	2,028	1,362	1,163	△14.6%	2,810	2,500	2,600

## <設備投資の状況(実績/計画)>

	10年3月期	11年3月期	
	実績	第2四半期実績	通期計画
(実績)			
工場設備	7億円	3億円	
管理・販売設備	2億円	1億円	
研究用設備	4億円	2億円	
(実績/計画)			
工場設備			1.3億円
管理・販売設備			6億円
研究用設備			5億円

# 主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	40,261 (1,835)	45,714 (1,305)	46,707 (1,500)
売上原価 (売上原価率)%	17,718 (44.0%)	17,035 (37.3%)	17,083 (36.6%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	21,298 (52.9%)	24,109 (52.7%)	25,422 (54.4%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	4,968 (12.3%)	5,670 (12.4%)	6,879 (14.7%)
営業利益 (営業利益率)%	1,243 (3.1%)	4,569 (10.0%)	4,201 (9.0%)
経常利益 (経常利益率)%	1,175 (2.9%)	5,172 (11.3%)	4,542 (9.7%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	△1,606 (△4.0%)	3,293 (7.2%)	2,959 (6.3%)
一株当たり当期利益(円)	△21.48円	44.05円	39.59円
資本金	700	700	700
総資産	123,299	127,728	128,541
純資産	94,304	100,024	104,662
一株当たり純資産(円)	1,260.93円	1,338.01円	1,400.35円
自己資本利益率%	△1.7%	3.3%	2.8%
自己資本比率%	76.5%	78.3%	81.4%
人員(人)	2,059人	2,262人	2,308人
設備投資	1,115	709	633
減価償却費	2,028	1,362	1,163

10年3月期	11年3月期 (修正予想)	11年3月期 (当初予想)
99,764 (3,830)	101,800 (2,700)	100,300 (1,800)
37,477 (37.6%)	—	—
49,025 (49.1%)	—	—
11,807 (11.8%)	12,600 (12.4%)	13,400 (13.4%)
13,261 (13.3%)	14,700 (14.5%)	12,700 (12.7%)
14,234 (14.3%)	15,300 (15.1%)	13,400 (13.4%)
8,848 (8.9%)	9,700 (9.6%)	8,500 (8.5%)
118.37円	129.78円	113.72円
700		
137,190		
104,911		
1,403.60円		
8.8%		
76.5%		
2,246人		
1,291	2,400	1,700
2,810	2,500	2,600

# 損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	39,545	100.0%	40,759	100.0%	3.1%	1,213
医薬品事業	39,545	100.0%	40,759	100.0%	3.1%	1,213
◆新医薬品	37,998	96.1%	39,168	96.1%	3.1%	1,170
○国内	36,733	92.9%	37,708	92.5%	2.7%	974
○海外	1,264	3.2%	1,460	3.6%	15.5%	195
◆後発医薬品	210	0.5%	290	0.7%	38.0%	80
◆一般用医薬品	1,337	3.4%	1,300	3.2%	△2.8%	△36

## <当期のポイント>

## 対前年

■ 売上高	40,759百万円	(+ 1,213百万円)
● 国内新医薬品	39,168百万円	(+ 1,170百万円)
	前期実績	当期実績 (億円)
・ キプレス	127	→ 141 (+14)
・ ムコダイン	93	→ 94 (+1)
・ ペンタサ	97	→ 99 (+2)
・ ウリトス	16	→ 24 (+8)
● 海外新医薬品	1,460百万円	(△ 195百万円)
・ ガチフロキサシン	11	→ 13 (+2)
● 後発医薬品	290百万円	(+ 80百万円)
● 一般用医薬品	1,300百万円	(△ 36百万円)
・ ミルトン	10	→ 9 (△1)

# 損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	39,545	100.0%	40,759	100.0%	3.1%	1,213
売上原価	13,183	33.3%	13,521	33.2%	2.6%	338
売上総利益	26,361	66.7%	27,237	66.8%	3.3%	875
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	21,603 (5,388)	54.6% 13.6%	23,359 (6,496)	57.3% 15.9%	8.1% (20.6%)	1,755 (1,107)
営業利益	4,757	12.0%	3,878	9.5%	△18.5%	△879
営業外収益	949	2.4%	586	1.4%	△38.2%	△362
営業外費用	37	0.1%	21	0.1%	△43.0%	△16
経常利益	5,669	14.3%	4,443	10.9%	△21.6%	△1,225
特別利益	0	0.0%	7	0.0%	△99.3%	7
特別損失	25	0.1%	10	0.0%	△57.6%	△14
税引前 四半期純利益	5,644	14.3%	4,440	10.9%	△21.3%	△1,204
法人税・住民税 及び事業税	2,118	5.4%	1,372	3.4%	△35.2%	△746
法人税等調整額	△290	△0.7%	159	0.4%	△154.8%	449
四半期純利益	3,816	9.6%	2,908	7.1%	△23.8%	△907

## <当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 0.1ポイント低下  
(33.3%→33.2%)  
\* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増加
- ◆研究開発費率：前年比 2.3ポイント上昇  
(13.6%→15.9%)  
\* 54億円→65億円 (11億円増加)  
増加要因：開発パイプラインの進展(KRP-108Ph2b終了など)
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比0.4ポイント増加  
(41.0%→41.4%)  
\* 162億円→169億円 (7億円増加)
- 営業利益 3,878百万円  
(△879百万円)  
\* 営業利益率は9.5%と2.4ポイント低下
- 四半期純利益 2,908百万円  
(△907百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	10年3月期		11年3月期第2四半期累計期間		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>78,422</b>	<b>65.4%</b>	<b>68,912</b>	<b>63.0%</b>	<b>△9,509</b>
現金および預金	15,313		11,604		
売掛金	33,088		28,926		
有価証券	5,290		5,408		
棚卸資産	19,147		17,724		
その他流動資産	5,581		5,248		
<b>固定資産</b>	<b>41,400</b>	<b>34.6%</b>	<b>40,400</b>	<b>37.0%</b>	<b>△999</b>
有形固定資産	12,847		12,326		
無形固定資産	328		262		
投資その他	28,225		27,811		
<b>資産合計</b>	<b>119,822</b>	<b>100.0%</b>	<b>109,313</b>	<b>100.0%</b>	<b>△10,509</b>
<b>流動負債</b>	<b>19,003</b>	<b>15.9%</b>	<b>11,453</b>	<b>10.5%</b>	<b>△7,550</b>
支払手形及び買掛金	6,849		2,825		
その他流動負債	12,154		8,628		
<b>固定負債</b>	<b>5,312</b>	<b>4.4%</b>	<b>4,814</b>	<b>4.4%</b>	<b>△498</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,316</b>	<b>20.3%</b>	<b>16,268</b>	<b>14.9%</b>	<b>△8,048</b>
<b>株主資本</b>	<b>95,384</b>	<b>79.6%</b>	<b>93,095</b>	<b>85.2%</b>	<b>△2,289</b>
評価・換算差額等	120	0.1%	△50	△0.1%	△170
<b>純資産合計</b>	<b>95,505</b>	<b>79.7%</b>	<b>93,044</b>	<b>85.1%</b>	<b>△2,460</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>119,822</b>	<b>100.0%</b>	<b>109,313</b>	<b>100.0%</b>	<b>△10,509</b>

## <当期のポイント>

- 流動資産： 9,509百万円減
- ・現金及び預金の減少 (3,709百万円減)
  - ・売掛金の減少 (4,162百万円減)
  - ・有価証券の増加 (118百万円増)
  - ・棚卸資産の減少 (1,422百万円減)

- 固定資産： 999百万円減
- ・有形固定資産の減少 (520百万円減)
  - ・無形固定資産の減少 (65百万円減)
  - ・投資その他の減少 (413百万円減)

- 流動負債： 7,550百万円減
- ・支払手形及び買掛金の減少 (4,023百万円減)
  - ・その他流動負債の減少 (3,526百万円減)

- 固定負債： 498百万円減

# 主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	34,425 (1,758)	39,545 (1,264)	40,759 (1,460)
売上原価 (売上原価率)%	14,096 (40.9%)	13,183 (33.3%)	13,521 (33.2%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	18,642 (54.2%)	21,603 (54.6%)	23,359 (57.3%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	4,508 (13.1%)	5,388 (13.6%)	6,496 (15.9%)
営業利益 (営業利益率)%	1,685 (4.9%)	4,757 (12.0%)	3,878 (9.5%)
経常利益 (経常利益率)%	2,125 (6.2%)	5,669 (14.3%)	4,443 (10.9%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	△280 (△0.8%)	3,816 (9.6%)	2,908 (7.1%)
一株当たり当期利益(円)	△3.78円	51.38円	39.17円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	106,478	110,669	109,313
純資産	85,356	90,466	93,044
一株当たり純資産(円)	1,149.31円	1,218.11円	1,252.82円
自己資本利益率%	△0.3%	4.2%	3.1%
自己資本比率%	80.2%	81.7%	85.1%
人員(人)	1,567人	1,733人	1,811人
設備投資	577	624	300
減価償却費	1,656	1,071	932

10年3月期	11年3月期 (修正予想)	11年3月期 (当初予想)
85,308 (2,563)	90,800 (2,500)	87,300 (1,600)
28,374 (33.3%)	—	—
43,795 (51.3%)	—	—
11,121 (13.0%)	11,800 (13.0%)	12,600 (14.4%)
13,139 (15.4%)	14,000 (15.5%)	12,300 (14.1%)
14,580 (17.1%)	15,100 (16.7%)	13,300 (15.2%)
9,472 (11.1%)	9,600 (10.6%)	8,400 (9.6%)
127.54円		
4,317		
119,822		
95,505		
1,285.95円		
10.3%		
79.7%		
1,724人		
1,051	1,300	1,200
2,198	2,000	2,000